

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ナйкаイ青山ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	0	1
事業所等の所在地	〒	1	0	7	-	0	0	6	2	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	1,345.92		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	56	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	109	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	109	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	80.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	224,108.0	9.76	2,187.3	0.4890	109.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 2,187.3		⑮ 109.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,405.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,405.0			0.4000	0.6
合 計								⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産ランドマークプラザ											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	0	2		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	1	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	芝公園1-6-7										
事業所等の延床面積	5,109.48			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	161	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	314	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	315	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	61.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	642,696.0	9.76	6,272.7	0.4890	314.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計						⑫ 6,272.7		⑬ 314.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,289.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,289.0			0.4000	0.9
合 計								⑭ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六本木通ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	0	4
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	3	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	六本木7-18-18								
事業所等の延床面積	11,737.92		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	517	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,005	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	1,009	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,056,435.0	9.76	20,070.8	0.4890	1,005.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 20,070.8		⑮ 1,005.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,695.0			0.2660	1.8
	公共下水道	☐	m ³	6,695.0			0.4000	2.7
合 計								⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大門ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	2	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	3,403.02		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	129	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	251	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	252	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	73.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	6,188.7	45.00	278.5	0.0136	13.9
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	486,589.0	9.76	4,749.1	0.4890	237.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 5,027.6		⑮ 251.8
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,931.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐ m ³	1,931.0			0.4000	0.8
合 計							⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日比谷ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	0	6
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	0	3	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	18,166.29		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	701	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,361	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	1,368	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	74.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	107,490.5	45.00	4,837.1	0.0136	241.2
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	2,290,040.0	9.76	22,350.8	0.4890	1,119.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 27,187.9		⑮ 1,361.0
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	12,782.0			0.2660	3.4
	公共下水道	☐ m ³	11,397.0			0.4000	4.6
合 計							⑯ 8.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル2号館											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	0	9		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	芝1-5-9										
事業所等の延床面積	4,951.19			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	111	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	216	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	216	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	443,298.0	9.76	4,326.6	0.4890	216.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 4,326.6		⑭ 216.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,252.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐	m ³	1,252.0			0.4000	0.5
合 計								⑮ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル3号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	1	0
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝1-7-17								
事業所等の延床面積	14,017.25		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	490	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	951	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	957	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	67.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	100,082.6	45.00	4,503.7	0.0136	224.6	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,487,369.0	9.76	14,516.7	0.4890	727.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	19,020.4	⑭	951.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	12,504.0			0.2660	3.3	
	公共下水道		☐	m ³	9,127.0			0.4000	3.7	
合 計								⑮	7.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル4号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	1	1
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	11,452.18		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	354	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	688	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	691	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,407,172.0	9.76	13,734.0	0.4890	688.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 13,734.0		⑮ 688.1
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,511.0			0.2660	1.2
	公共下水道	☐ m ³	4,511.0			0.4000	1.8
合 計							⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	1	2		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	芝1-11-11										
事業所等の延床面積	20,572.06			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,033	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,004	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	2,010	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	97.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	217,045.9	45.00	9,767.1	0.0136	487.1
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,102,846.0	9.76	30,283.8	0.4890	1,517.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 40,050.8		⑮ 2,004.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	11,817.0			0.2660	3.1
	公共下水道	☐	m ³	7,460.0			0.4000	3.0
合 計								⑯ 6.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝三丁目ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	1	3					
事業所等の所在地	〒		1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下		芝3-39-9												
事業所等の延床面積	5,831.08				m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	437	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	849	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	850	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	145.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,736,984.0	9.76	16,953.0	0.4890	849.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 16,953.0		⑮ 849.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,945.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	1,945.0			0.4000	0.8
合 計								⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝公園タワー									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	1	4
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	1	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝公園2-11-1								
事業所等の延床面積	32,743.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,134	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,203	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	2,209	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	67.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	4,505,544.0	9.76	43,974.1	0.4890	2,203.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 43,974.1		⑭ 2,203.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	10,082.0			0.2660	2.7
	公共下水道	☐	m ³	10,082.0			0.4000	4.0
合 計								⑮ 6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥}/1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用方法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝園ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	1	5					
事業所等の所在地	〒	1	0	5	-	0	0	1	1	区市町村名	東京都港区				
	町名番地以下	芝公園2-10-1													
事業所等の延床面積	3,493.19			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	95	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	186	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	187	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	380,874.0	9.76	3,717.3	0.4890	186.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 3,717.3		⑮ 186.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,724.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	1,724.0			0.4000	0.7
合 計								⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産赤坂ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	1	7
事業所等の所在地	〒	1	0	7	-	0	0	5	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	赤坂8-10-24								
事業所等の延床面積	2,763.61		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	144	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	281	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	282	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	101.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	574,811.0	9.76	5,610.2	0.4890	281.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 5,610.2		⑭ 281.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,837.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐	m ³	2,837.0			0.4000	1.1
合 計								⑮ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友新虎ノ門ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	1	8					
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	0	1	区市町村名	東京都港区				
	町名番地下	虎ノ門4-3-9													
事業所等の延床面積	8,100.63			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	536	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,041	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	1,046	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	128.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	25,803.9	45.00	1,161.2	0.0136	57.9
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(軽油)	☐	L	12.0	37.70	0.5	0.0187	0.0
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,011,029.0	9.76	19,627.6	0.4890	983.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 20,789.3		⑮ 1,041.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	8,066.0			0.2660	2.1
	公共下水道	☐	m ³	7,694.0			0.4000	3.1
合 計								⑮ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル2号館											
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	1	9		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	-	0	0	2	1	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	東新橋2-12-7										
事業所等の延床面積	8,462.61			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	441	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	856	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	858	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	101.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	67,605.9	45.00	3,042.3	0.0136	151.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,440,271.0	9.76	14,057.0	0.4890	704.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑪ 17,099.3		⑮ 856.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,490.0			0.2660	1.5
	公共下水道	☐	m ³	3,506.0			0.4000	1.4
合 計								⑮ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル3号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	2	0
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	3	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	11,028.36		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	441	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	857	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	5	t
総計(④=②+③)	④	862	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	77.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,752,654.0	9.76	17,105.9	0.4890	857.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭ 17,105.9		⑮ 857.0
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	6,937.0			0.2660	1.8
	公共下水道	☐ m ³	8,229.0			0.4000	3.3
合 計							⑮ 5.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル5号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	2	2
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	2	1	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	2,829.09		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	100	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	195	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	195	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	399,008.0	9.76	3,894.3	0.4890	195.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計					⑬	3,894.3	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,296.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐ m ³	1,296.0			0.4000	0.5
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友浜松町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	2	3
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	3	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	浜松町1-18-16								
事業所等の延床面積	16,605.62		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	434	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	844	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	846	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,727,307.0	9.76	16,858.5	0.4890	844.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	16,858.5	⑭	844.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,335.0				0.2660	1.2
	公共下水道		☐	m ³	4,335.0				0.4000	1.7
合 計									⑮	2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝公園ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	2	4
事業所等の所在地	〒	1	0	5	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	17,302.13		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	614	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,192	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	1,198	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	127,763.7	45.00	5,749.4	0.0136	286.7
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,851,329.0	9.76	18,069.0	0.4890	905.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 23,818.3		⑮ 1,192.0
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	11,104.0			0.2660	3.0
	公共下水道	☐ m ³	8,359.0			0.4000	3.3
合 計							⑮ 6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝大門ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	2	5
事業所等の所在地	〒	1	0	5	-	0	0	1	2	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	12,951.08		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	346	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	672	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	675	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	51.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,374,516.0	9.76	13,415.3	0.4890	672.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 13,415.3		⑮ 672.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,520.0			0.2660	1.2
	公共下水道	☐	m ³	4,520.0			0.4000	1.8
合 計								⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用有感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝浦ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	2	6		
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名	東京都港区	
	町名番地下	芝浦4-16-36										
事業所等の延床面積	15,029.51			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	564	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,060	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	1,063	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	21,564.1	45.00	970.4	0.0136	48.4
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(温水)	☐	MJ	1,257,000.0	1.36	1,709.5	0.0600	75.4
	その他(冷水)	☐	MJ	3,195,000.0	1.36	4,345.2	0.0600	191.7
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,523,717.0	9.76	14,871.5	0.4890	745.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 21,896.6		⑮ 1,060.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,436.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,436.0			0.4000	2.2
合 計								⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪}=(\text{都が指定する原単位}\times\text{延床面積}\times\text{事業所等の総稼働時間})/1,000$

$\text{⑫}=(\text{⑪}/\text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)})\times 1,000$ $\text{⑬}=(\text{⑫}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新橋山根ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	2	7
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	2	1	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	2,773.09		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	123	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	240	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	241	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	86.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	491,998.0	9.76	4,801.9	0.4890	240.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 4,801.9		⑮ 240.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,608.0			0.2660	0.7
	公共下水道	☐	m ³	2,608.0			0.4000	1.0
合 計								⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	森永乳業港南ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	2	9
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	港南3-8-1								
事業所等の延床面積	17,331.11		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	445	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	864	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	868	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	49.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	89,262.8	45.00	4,016.8	0.0136	200.3
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,359,037.0	9.76	13,264.2	0.4890	664.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 17,281.0		⑭ 864.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	7,020.0			0.2660	1.9
	公共下水道	☐	m ³	5,477.0			0.4000	2.2
合 計								⑮ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉ガーデンウイング									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	3	0
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	3	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	六本木1-6-3								
事業所等の延床面積	3,400.52		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	121	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	236	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	237	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	69.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	428.2	45.00	19.3	0.0136	1.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(A重油)	☐	L	50.0	39.10	2.0	0.0189	0.1
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	481,320.0	9.76	4,697.7	0.4890	235.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 4,718.9		⑮ 236.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,021.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	2,021.0			0.4000	0.8
合 計								⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル6号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	3	1
事業所等の所在地	〒	1	0	5	-	0	0	1	3	区市町村名 東京都港区
	町名番地下	浜松町1-2-4								
事業所等の延床面積	2,941.77		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	84	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	164	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	166	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	55.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	336,827.0	9.76	3,287.4	0.4890	164.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 3,287.4		⑭ 164.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,175.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,175.0			0.4000	1.3
合 計								⑮ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉芝公園ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	3	4
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	1	区市町村名 東京都港区
	町名番地下以	芝公園1-6-8								
事業所等の延床面積	1,310.77		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	21	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	42	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	42	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	32.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	86,086.0	9.76	840.2	0.4890	42.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	840.2	⑭	42.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	309.0			0.2660	0.1	
	公共下水道		☐	m ³	309.0			0.4000	0.1	
合 計									⑮	0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人体感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉芝大門ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	3	5					
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	2	区市町村名	東京都港区				
	町名番地下	芝大門2-2-11													
事業所等の延床面積	3,610.35			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	181	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	371,987.0	9.76	3,630.6	0.4890	181.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 3,630.6		⑭ 181.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,171.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐	m ³	1,171.0			0.4000	0.5
合 計								⑮ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉西麻布ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	3	6
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	3	1	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	西麻布4-3-11								
事業所等の延床面積	2,995.63		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	89	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	173	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	173	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	57.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	354,120.0	9.76	3,456.2	0.4890	173.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 3,456.2		⑮ 173.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	745.0			0.2660	0.2
	公共下水道	☐	m ³	745.0			0.4000	0.3
合 計								⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	浜松町TSビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	3	7
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	3	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	5,183.74		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	118	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	230	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	231	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	472,251.0	9.76	4,609.2	0.4890	230.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 4,609.2		⑮ 230.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,391.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,391.0			0.4000	1.0
合 計								⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	留園ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	3	8
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	1	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	6,826.21		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	223	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	433	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	434	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	63.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	886,430.0	9.76	8,651.6	0.4890	433.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 8,651.6		⑮ 433.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,205.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐ m ³	2,205.0			0.4000	0.9
合 計							⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネ エネルギー 対策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝大門ビル2号館											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	3	9		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	2	区市町村名	東京都港区	
	町名番地下	芝大門1-12-16										
事業所等の延床面積	2,353.55			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	128	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	263,282.0	9.76	2,569.6	0.4890	128.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 2,569.6		⑮ 128.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	997.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐	m ³	997.0			0.4000	0.4
合 計								⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル東館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	4	1
事業所等の所在地	〒107—0052 区市町村名 東京都港区									
	町名番地下 赤坂8-5-27									
事業所等の延床面積	15,770.94		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	512	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	994	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	1,000	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	63.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	31,276.1	45.00	1,407.4	0.0136	70.2	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,890,015.0	9.76	18,446.5	0.4890	924.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	19,854.0	⑮	994.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	10,851.0			0.2660	2.9	
	公共下水道		☐	m ³	9,832.0			0.4000	3.9	
合 計									⑯	6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ニチレイ水道橋ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	4	2		
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	6	1	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	神田三崎町3-3-23										
事業所等の延床面積	17,084.63			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☐ 1年度分 ☒ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	73	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	142	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	143	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	8.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	291,477.0	9.76	2,844.8	0.4890	142.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 2,844.8		⑭ 142.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,821.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐	m ³	2,821.0			0.4000	1.1
合 計								⑮ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	五番町YSビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	4	5
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	7	6	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	1,712.46		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	216	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	420	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	421	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	245.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	859,586.0	9.76	8,389.6	0.4890	420.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 8,389.6		⑮ 420.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,690.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,690.0			0.4000	0.7
合 計								⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産一ツ橋ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	4	6
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	1	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	5,359.65		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	188	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	365	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	367	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	748,150.0	9.76	7,301.9	0.4890	365.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 7,301.9		⑮ 365.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,302.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐	m ³	3,302.0			0.4000	1.3
合 計								⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産一番町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	4	8
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	8	2	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	11,102.44		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	254	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	493	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	494	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh		0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,008,829.0	9.76	9,846.2	0.4890	493.3		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	9,846.2		⑮	493.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,258.0				0.2660		0.6
	公共下水道		☐	m ³	2,258.0				0.4000		0.9
合 計										⑯	1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産三番町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	4	9
事業所等の所在地	〒102—0075 区市町村名 東京都千代田区									
事業所等の延床面積	1,606.80		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	94	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	183	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	183	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	113.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	375,245.0	9.76	3,662.4	0.4890	183.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	3,662.4	⑭	183.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,398.0			0.2660	0.4
	公共下水道		☐	m ³	1,398.0			0.4000	0.6
合 計								⑮	0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	5	0
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	7	3	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	九段北1-8-10								
事業所等の延床面積	17,789.12		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	718	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,395	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	1,399	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	78.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,853,618.0	9.76	27,851.3	0.4890	1,395.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 27,851.3		⑮ 1,395.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,922.0			0.2660	1.8
	公共下水道	☐	m ³	6,922.0			0.4000	2.8
合 計								⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段下ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	1
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	5	1	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	6,090.09		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	230	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	447	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	448	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	73.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	914,667.0	9.76	8,927.1	0.4890	447.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 8,927.1		⑮ 447.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,954.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐	m ³	2,954.0			0.4000	1.2
合 計								⑮ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段北ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	2
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	7	3	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	6,507.95		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	278	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	540	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	543	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	82.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,105,319.0	9.76	10,787.9	0.4890	540.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計					⑬ 10,787.9		⑭ 540.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	5,742.0			0.2660	1.5
	公共下水道	☐ m ³	5,742.0			0.4000	2.3
合 計							⑮ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産二番町ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	3					
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	8	4	区市町村名	東京都千代田区				
	町名番地以下	二番町11-7													
事業所等の延床面積	4,399.42				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	124	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	242	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	243	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	55.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	495,115.0	9.76	4,832.3	0.4890	242.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 4,832.3		⑭ 242.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,839.0			0.2660	0.5
	公共下水道		☐	m ³	1,839.0			0.4000	0.7
合 計									⑮ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストビル南館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	4
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	5	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	西神田3-2-1								
事業所等の延床面積	10,582.10			m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	471	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	915	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
総計(④=②+③)	④	919	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	86.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{*1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) 夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
			☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,872,318.0	9.76	18,273.8	0.4890	915.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{*2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 18,273.8		⑮ 915.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	6,074.0			0.2660	1.6
	公共下水道	☐ m ³	6,074.0			0.4000	2.4
合 計							⑯ 4.0

^{*1} 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

^{*2} ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産小石川ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	5
事業所等の所在地	〒	1	1	2	-	0	0	0	2	区市町村名 東京都文京区
事業所等の延床面積	3,274.89		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店	☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	78	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	152	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	152	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	46.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐ kWh	311,180.0	9.76	3,037.1	0.4890
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 3,037.1		⑮ 152.2
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,250.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐ m ³	1,250.0			0.4000	0.5
合 計							⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産後楽園ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	6
事業所等の所在地	〒	1	1	2	-	0	0	0	2	区市町村名 東京都文京区
事業所等の延床面積	22,796.99		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	844	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,639	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	1,645	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	71.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	86,184.0	45.00	3,878.3	0.0136	193.4
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) 夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.97 9.28	0.0 0.0	0.4890 0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	2,957,747.0	9.76	28,867.6	0.4890	1,446.3
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}	kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	0.4890	⑭ 0.0
合 計					⑭ 32,745.9		⑮ 1,639.7
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	9,205.0			0.2660	2.4
	公共下水道	☐ m ³	9,205.0			0.4000	3.7
合 計							⑯ 6.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御茶ノ水ビルアネックス														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	7					
事業所等の所在地	〒		1	0	1	-	0	0	6	2	区市町村名 東京都千代田区				
	町名番地下		以 神田駿河台2-3												
事業所等の延床面積	3,526.80			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	103	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	201	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	202	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	411,560.0	9.76	4,016.8	0.4890	201.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	4,016.8	⑭	201.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,909.0			0.2660	0.5	
	公共下水道		☐	m ³	1,909.0			0.4000	0.8	
合 計									⑮	1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無	
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²
	その他	特記事項に内容を記載	
		CO ₂ 削減率(前年度比)	%
		CO ₂ 排出量(総量)	t

6 特記事項

ビル名変更 住友不動産御茶ノ水ビルから住友不動産御茶ノ水ビルアネックスに変更

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新赤坂ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	5	8
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地下	赤坂4-2-6								
事業所等の延床面積	19,909.26		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点	延床面積が19711.27から19909.26㎡に変更									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	707	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,373	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	1,379	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧/1,000)×⑨
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,808,481.0	9.76	27,410.8	0.4890	1,373.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 27,410.8		⑮ 1,373.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	10,279.0			0.2660	2.7
	公共下水道	☐	m ³	10,279.0			0.4000	4.1
合 計								⑯ 6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産本郷ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	5	9
事業所等の所在地	〒	1	1	3	-	0	0	3	3	区市町村名 東京都文京区
	町名番地下	本郷3-22-5								
事業所等の延床面積	7,427.28		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	266	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	517	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	519	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	69.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,058,577.0	9.76	10,331.7	0.4890	517.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	0.4890	⑭ 0.0
合 計						⑮ 10,331.7			⑯ 517.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,125.0			0.2660	0.8
	公共下水道		☐	m ³	3,125.0			0.4000	1.3
合 計									⑰ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産永田町ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	6	1		
事業所等の所在地	〒	1	0	0	-	0	0	1	4	区市町村名	東京都千代田区	
事業所等の延床面積	2,973.81				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	74	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	144	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	144	t
二酸化炭素排出原単位	⑤	48.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	295,344.0	9.76	2,882.6	0.4890	144.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 2,882.6		⑮ 144.4
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,212.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐ m ³	1,212.0			0.4000	0.5
合 計							⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産江戸川橋駅前ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	ー	0	0	6	2
事業所等の所在地	〒	1	1	2	ー	0	0	1	4	区市町村名 東京都文京区
事業所等の延床面積	4,931.21		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	254	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	493	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	494	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	99.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,009,914.0	9.76	9,856.8	0.4890	493.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 9,856.8		⑮ 493.8
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,999.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐ m ³	2,999.0			0.4000	1.2
合 計							⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産池袋西口ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	6	3
事業所等の所在地	〒	1	7	1	-	0	0	2	1	区市町村名 東京都豊島区
事業所等の延床面積	7,094.92		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	218	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	424	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	426	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	59.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	11,435.5	45.00	514.6	0.0136	25.7
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	816,322.0	9.76	7,967.3	0.4890	399.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 8,481.9		⑮ 424.8
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,525.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,561.0			0.4000	1.4
合 計							⑮ 2.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産猿楽町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	6	4
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	4	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	20,930.58		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	881	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,789	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	16	t
	総計(④=②+③)	④	1,805	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	127,831.4	45.00	5,752.4	0.0136	286.9	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	122,000.0	36.70	4,477.4	0.0185	303.7	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	2,451,159.0	9.76	23,923.3	0.4890	1,198.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	34,153.1	⑮	1,789.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	25,850.0			0.2660	6.9	
	公共下水道		☐	m ³	24,107.0			0.4000	9.6	
合 計									⑯	16.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産神田ビル2号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	6	5
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	4	1	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地下	神田須田町1-23-1								
事業所等の延床面積	18,840.38		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	790	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,534	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	1,540	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	81.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,137,640.0	9.76	30,623.4	0.4890	1,534.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑭	0.0
合 計						⑭ 30,623.4		⑮ 1,534.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,645.0			0.2660	2.6
	公共下水道	☐	m ³	9,645.0			0.4000	3.9
合 計								⑮ 6.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産音羽ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	6	7
事業所等の所在地	〒	1	1	2	-	0	0	1	2	区市町村名 東京都文京区
事業所等の延床面積	2,341.96		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	195	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	380	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	382	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	162.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	777,857.0	9.76	7,591.9	0.4890	380.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 7,591.9		⑮ 380.4
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,134.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐ m ³	3,134.0			0.4000	1.3
合 計							⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	6	8					
事業所等の所在地	〒	1	1	2	-	0	0	0	4	区市町村名	東京都文京区				
	町名番地以下	後楽2-3-21													
事業所等の延床面積	9,902.91			m ²			事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	432	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	839	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	842	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	84.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,717,012.0	9.76	16,758.0	0.4890	839.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 16,758.0		⑭ 839.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,733.0			0.2660	1.3
	公共下水道	☐	m ³	4,733.0			0.4000	1.9
合 計								⑮ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル2号館・ウイング														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	6	9					
事業所等の所在地	〒	1	1	2	-	0	0	0	4	区市町村名 東京都文京区					
	町名番地以下		後楽2-2-23・22												
事業所等の延床面積	7,068.25			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	228	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	444	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	447	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	62.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	908,821.0	9.76	8,870.1	0.4890	444.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 8,870.1		⑮ 444.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,519.0			0.2660	1.5
	公共下水道	☐	m ³	5,519.0			0.4000	2.2
合 計								⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋駅前ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	7	1		
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	7	2	区市町村名 東京都千代田区		
	町名番地以下	飯田橋3-8-5										
事業所等の延床面積	16,012.03			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	783	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,521	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	1,526	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	94.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,111,475.0	9.76	30,368.0	0.4890	1,521.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 30,368.0		⑭ 1,521.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	8,533.0			0.2660	2.3
	公共下水道	☐	m ³	8,533.0			0.4000	3.4
合 計								⑮ 5.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	7	2					
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	8	4	区市町村名	東京都千代田区				
	町名番地以下	二番町5-1													
事業所等の延床面積	9,849.81				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	296	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	576	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	578	t
二酸化炭素排出原単位	⑤	58.4	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,179,352.0	9.76	11,510.5	0.4890	576.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	11,510.5	⑭	576.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,992.0			0.2660	1.1
	公共下水道		☐	m ³	3,992.0			0.4000	1.6
合 計								⑮	2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル3号館											
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	7	3		
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	8	3	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地下	麹町3-6										
事業所等の延床面積	3,874.87		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	151	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	293	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	293	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	75.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時) 夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
			☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	600,060.0	9.76	5,856.6	0.4890	293.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	5,856.6	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,224.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐ m ³	1,224.0			0.4000	0.5
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネ エネルギー 対策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友半蔵門ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	7	5
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	9	2	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	隼町3-16								
事業所等の延床面積	9,236.63		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	227	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	441	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	447	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	47.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	902,514.0	9.76	8,808.5	0.4890	441.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 8,808.5		⑭ 441.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,526.0			0.2660	2.5
	公共下水道	☐	m ³	9,526.0			0.4000	3.8
合 計								⑮ 6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友水道橋ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	7	7
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	6	4	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	5,747.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	247	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	480	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	483	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	83.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	982,550.0	9.76	9,589.7	0.4890	480.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 9,589.7		⑮ 480.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,230.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,230.0			0.4000	2.1
合 計								⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友池袋駅前ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	7	8		
事業所等の所在地	〒170-0001 区市町村名 東京都豊島区											
事業所等の延床面積	18,265.65			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	617	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,198	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	1,207	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	101,074.4	45.00	4,548.3	0.0136	226.8
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,987,122.0	9.76	19,394.3	0.4890
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計						⑬	23,942.7	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	15,089.0			0.2660	4.0
	公共下水道	☐	m ³	13,946.0			0.4000	5.6
合 計								⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友神保町ビル															
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	7	9						
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	1	区市町村名 東京都千代田区						
	町名番地下	神田神保町3-25														
事業所等の延床面積	6,322.27					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置					☐ 再生可能エネルギー電気の受入					☐ 証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	233	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	453	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	457	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	71.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	927,559.0	9.76	9,053.0	0.4890	453.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	9,053.0	⑭	453.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,841.0			0.2660	1.8	
	公共下水道		☐	m ³	6,841.0			0.4000	2.7	
合 計									⑮	4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	半蔵門ファーストビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	8	0
事業所等の所在地	〒 1 0 2 - 0 0 8 3 区 市 町 村 名 東京都千代田区									
	町 名 番 地 以 下 麹町1-4									
事業所等の延床面積	13,772.71			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	669	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,300	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	1,305	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	94.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	2,659,751.0	9.76	25,959.2	0.4890	1,300.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	25,959.2	⑮	1,300.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	8,968.0			0.2660	2.4	
	公共下水道		☐	m ³	8,968.0			0.4000	3.6	
合 計								⑮	6.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	川喜多メモリアルビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	8	1
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	8	2	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	4,999.02		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	116	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	226	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	227	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	45.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	463,910.0	9.76	4,527.8	0.4890	226.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 4,527.8		⑮ 226.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,676.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,676.0			0.4000	0.7
合 計								⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	御茶ノ水ファーストビル															
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	8	3						
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	2	区市町村名	東京都千代田区					
事業所等の延床面積	11,387.86					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他															
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用															
前年度の報告内容からの変更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	518	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,006	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	1,012	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	88.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,057,348.0	9.76	20,079.7	0.4890	1,006.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 20,079.7		⑮ 1,006.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,957.0			0.2660	2.6
	公共下水道	☐	m ³	9,957.0			0.4000	4.0
合 計								⑯ 6.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	水道橋HSビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	8	5					
事業所等の所在地	〒		1	0	1	-	0	0	6	1	区市町村名		東京都千代田区		
	町名番地下		三崎町1-2-8												
事業所等の延床面積	1,645.68		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	107	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	107	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	219,493.0	9.76	2,142.3	0.4890	107.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 2,142.3		⑮ 107.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,079.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐	m ³	1,079.0			0.4000	0.4
合 計								⑮ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉白山ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	8	6					
事業所等の所在地	〒	1	1	2	—	0	0	0	1	区市町村名	東京都文京区				
	町名番地以下	白山2-29-4													
事業所等の延床面積	1,760.60		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	69	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	134	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	134	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	76.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	275,989.0	9.76	2,693.7	0.4890	135.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 2,693.7		⑭ 135.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	671.0			0.2660	0.2
	公共下水道	☐	m ³	671.0			0.4000	0.3
合 計								⑮ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉赤坂ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	8	7
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	2	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	2,016.25		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	122	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	237	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	239	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	117.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	15,669.5	45.00	705.1	0.0136	35.2
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	413,002.0	9.76	4,030.9	0.4890	202.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	0.4890	⑭ 0.0
合 計					⑮ 4,736.0		⑯ 237.1
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,378.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,378.0			0.4000	1.4
合 計							⑰ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産原宿ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	9	1
事業所等の所在地	〒150-0001 区市町村名 東京都渋谷区									
事業所等の延床面積	18,901.94		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	862	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,674	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	1,680	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	88.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	3,423,668.0	9.76	33,415.0	0.4890	1,674.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭ 33,415.0		⑮ 1,674.2
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	10,202.0			0.2660	2.7
	公共下水道	☐ m ³	10,202.0			0.4000	4.1
合 計							⑯ 6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川シーサイドビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	9	2
事業所等の所在地	〒140-0002 区市町村名 東京都品川区 町名番地下 東品川4-13-9									
事業所等の延床面積	21,744.44		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	751	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,457	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	10	t
	総計(④=②+③)	④	1,467	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	67.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	185,233.3	45.00	8,335.5	0.0136	415.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,130,159.0	9.76	20,790.4	0.4890	1,041.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 29,125.8		⑮ 1,457.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	15,370.0			0.2660	4.1
	公共下水道	☐	m ³	15,370.0			0.4000	6.1
合 計								⑯ 10.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産四谷ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	9	3
事業所等の所在地	〒	1	6	0	-	0	0	0	7	区市町村名 東京都新宿区
事業所等の延床面積	14,153.70		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	597	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,160	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	1,167	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	81.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	2,372,291.0	9.76	23,153.6	0.4890	1,160.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭ 23,153.6		⑮ 1,160.1
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	11,838.0			0.2660	3.1
	公共下水道	☐ m ³	11,838.0			0.4000	4.7
合 計							⑯ 7.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無	
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比) %
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載	

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産笹塚太陽ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	0	9	8					
事業所等の所在地	〒	1	5	1	—	0	0	7	3	区市町村名 東京都渋谷区					
	町名番地下	笹塚1-48-3													
事業所等の延床面積	7,396.07			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	235	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	457	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	459	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	61.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	936,260.0	9.76	9,137.9	0.4890	457.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	9,137.9	⑮	457.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,964.0			0.2660	1.1	
	公共下水道		☐	m ³	3,964.0			0.4000	1.6	
合 計									⑯	2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西五反田ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	0	9	9
事業所等の所在地	〒141-0031 区市町村名 東京都品川区									
事業所等の延床面積	7,558.38		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	237	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	460	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	462	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	941,575.0	9.76	9,189.8	0.4890	460.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	9,189.8	⑭	460.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,283.0			0.2660	1.1	
	公共下水道		☐	m ³	4,283.0			0.4000	1.7	
合 計									⑮	2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル3号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	0	0
事業所等の所在地	〒	1	6	0	-	0	0	2	3	区市町村名 東京都新宿区
事業所等の延床面積	12,551.03		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	493	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	957	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	962	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	76.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	122,364.7	45.00	5,506.4	0.0136	274.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,396,904.0	9.76	13,633.8	0.4890	683.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 19,140.2		⑮ 957.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	10,340.0			0.2660	2.8
	公共下水道	☐	m ³	7,506.0			0.4000	3.0
合 計								⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル5号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	0	1
事業所等の所在地	〒	1	6	0	—	0	0	2	3	区市町村名 東京都新宿区
事業所等の延床面積	16,510.97		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	709	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	1,377	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	1,381	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	83.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,817,935.0	9.76	27,503.0	0.4890	1,378.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 27,503.0		⑭ 1,378.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,567.0			0.2660	1.7
	公共下水道	☐	m ³	6,567.0			0.4000	2.6
合 計								⑮ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル6号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	0	2
事業所等の所在地	〒151-0071 区 市 町 村 名 東京都渋谷区 町 名 番 地 以下 本町3-12-1									
事業所等の延床面積	19,030.97		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	784	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,522	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	1,526	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	79.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,113,862.0	9.76	30,391.3	0.4890	1,522.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 30,391.3		⑭ 1,522.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,901.0			0.2660	1.8
	公共下水道	☐	m ³	6,901.0			0.4000	2.8
合 計								⑮ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	0	3
事業所等の所在地	〒160-0002 区 市 町 村 名 東京都新宿区									
	町 名 番 地 以下 西新宿7-20-1									
事業所等の延床面積	32,311.86		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,064	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,066	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	2,073	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	63.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	4,225,661.0	9.76	41,242.5	0.4890	2,066.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑪ 41,242.5		⑪ 2,066.3
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	11,828.0			0.2660	3.1
	公共下水道	☐ m ³	11,828.0			0.4000	4.7
合 計							⑬ 7.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル2号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	0	4
事業所等の所在地	〒160-0002 区市町村名 東京都新宿区									
事業所等の延床面積	4,087.17		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	128	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	250	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	253	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	61.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	511,632.0	9.76	4,993.5	0.4890	250.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計					⑬	4,993.5	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,717.0			0.2660	1.3
	公共下水道	☐ m ³	4,717.0			0.4000	1.9
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山通ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	0	5
事業所等の所在地	〒150-0002 区市町村名 東京都渋谷区									
	町名番地下 渋谷1-7-7									
事業所等の延床面積	9,565.68		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖店事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	496	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	964	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	967	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	100.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,973,318.0	9.76	19,259.6	0.4890	965.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	19,259.6	⑭	965.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,218.0			0.2660	1.4	
	公共下水道		☐	m ³	5,218.0			0.4000	2.1	
合 計									⑮	3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青葉台ヒルズ									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	0	7
事業所等の所在地	〒	1	5	3	-	0	0	4	2	区市町村名 東京都目黒区
	町名番地以下	青葉台4-7-7								
事業所等の延床面積	17,746.70		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	697	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,352	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	1,357	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	76.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{*1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	103,701.8	45.00	4,666.6	0.0136	232.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,290,609.0	9.76	22,356.3	0.4890	1,120.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{*2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭		⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,079.0			0.2660	2.4
	公共下水道	☐	m ³	6,779.0			0.4000	2.7
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産高輪パークタワー									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	0	8
事業所等の所在地	〒	1	4	1	—	0	0	2	2	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	16,718.35		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	833	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,616	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	1,624	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	96.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	157,558.0	45.00	7,090.1	0.0136	353.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,583,019.0	9.76	25,210.3	0.4890	1,263.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 32,300.4		⑮ 1,616.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	14,646.0			0.2660	3.9
	公共下水道	☐	m ³	11,519.0			0.4000	4.6
合 計								⑯ 8.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友五反田ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	0	9					
事業所等の所在地	〒	1	4	1	-	0	0	3	1	区市町村名 東京都品川区					
	町名番地下	西五反田7-1-1													
事業所等の延床面積	5,170.51				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	144	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	281	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	282	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	575,442.0	9.76	5,616.3	0.4890	281.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 5,616.3		⑮ 281.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,631.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,631.0			0.4000	0.7
合 計								⑮ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友大井町ビル北館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	1	1
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都品川区
	町名番地以下	大井1-20-6								
事業所等の延床面積	4,087.29		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	183	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	356	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	357	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	87.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	729,984.0	9.76	7,124.6	0.4890	357.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 7,124.6		⑭ 357.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,789.0			0.2660	0.7
	公共下水道		☐	m ³	2,789.0			0.4000	1.1
合 計									⑮ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友市ヶ谷ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	1	2					
事業所等の所在地	〒	1	6	2	-	0	8	4	5	区市町村名 東京都新宿区					
	町名番地下以	市谷本村町1-1													
事業所等の延床面積	16,017.44				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	355	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	690	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	695	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,297.7	45.00	193.4	0.0136	9.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,392,880.0	9.76	13,594.5	0.4890	681.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 13,787.9		⑮ 690.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	7,933.0			0.2660	2.1
	公共下水道	☐	m ³	7,933.0			0.4000	3.2
合 計								⑯ 5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南新宿星野ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	1	4
事業所等の所在地	〒	1	5	1	-	0	0	5	1	区市町村名 東京都渋谷区
	町名番地以下	千駄ヶ谷5-23-13								
事業所等の延床面積	4,649.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	111	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	216	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	217	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	46.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐ kWh	442,221.0	9.76	4,316.1	0.4890
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭	4,316.1	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,995.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐ m ³	1,995.0			0.4000	0.8
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	原宿グランドヒルズ									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	1	5
事業所等の所在地	〒	1	5	1	-	0	0	5	1	区市町村名 東京都渋谷区
	町名番地以下	千駄ヶ谷3-53								
事業所等の延床面積	1,223.47		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	69	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	141,963.0	9.76	1,385.6	0.4890	69.4			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	1,385.6			⑮	69.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	386.0				0.2660			0.1
	公共下水道		☐	m ³	386.0				0.4000			0.2
合 計											⑯	0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	恵比寿SSビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	1	7
事業所等の所在地	〒150-0001 区市町村名 東京都渋谷区									
	町名番地下 恵比寿4-3-14									
事業所等の延床面積	9,079.12		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			■ 1年度分 □ 1年未満		
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店	■ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 再生可能エネルギー電気の受入 □ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	272	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	529	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	531	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	58.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,083,609.0	9.76	10,576.0	0.4890	529.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 10,576.0		⑮ 529.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,686.0			0.2660	1.0
	公共下水道		☐	m ³	3,686.0			0.4000	1.5
合 計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿アイランドウイング									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	1	8
事業所等の所在地	〒160-0002 区 市 町 村 名 東京都新宿区									
	町 名 番 地 以下 西新宿6-3-1									
事業所等の延床面積	20,141.65 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	950	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,759	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	1,764	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	87.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(産業用以外の蒸気)	☐ MJ	4,649,000.0	1.36	6,322.6	0.0600	278.9
	その他(冷水)	☐ MJ	5,987,000.0	1.36	8,142.3	0.0600	359.2
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	2,292,804.0	9.76	22,377.8	0.4890	1,121.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪ 0.0 ⑬ 0.0
合 計					⑭ 36,842.7		⑮ 1,759.3
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,542.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐ m ³	12,242.0			0.4000	4.9
合 計							⑯ 5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿三光町ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	1	9					
事業所等の所在地	〒	1	6	0	—	0	0	2	2	区市町村名	東京都新宿区				
	町名番地下	新宿5-15-5													
事業所等の延床面積	7,979.88				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	271	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	527	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	529	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	66.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	11,361.1	45.00	511.2	0.0136	25.5	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,025,882.0	9.76	10,012.6	0.4890	501.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	10,523.9	⑭	527.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,634.0			0.2660	1.0	
	公共下水道		☐	m ³	3,297.0			0.4000	1.3	
合 計									⑮	2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿御苑ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	2	0
事業所等の所在地	〒160-0012 区 市 町 村 名 東京都新宿区									
	町 名 番 地 新宿2-13-12									
事業所等の延床面積	5,264.02			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)									
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	201	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	391	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	393	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	74.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	801,152.0	9.76	7,819.2	0.4890	391.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	7,819.2	⑭	391.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,792.0			0.2660		1.0
	公共下水道		☐	m ³	3,792.0			0.4000		1.5
合 計									⑮	2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉ホシイビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	2	1					
事業所等の所在地	〒	1	6	0	—	0	0	2	3	区市町村名	東京都新宿区				
	町名番地下	西新宿7-22-12													
事業所等の延床面積	3,444.17				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	153	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	298	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	300	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	86.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	611,088.0	9.76	5,964.2	0.4890	298.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 5,964.2		⑮ 298.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,982.0			0.2660	1.1
	公共下水道	☐	m ³	3,982.0			0.4000	1.6
合 計								⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネ エネルギー 対策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉西新宿ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	2	2
事業所等の所在地	〒	1	5	1	—	0	0	7	1	区市町村名 東京都渋谷区
	町名番地下	本町4-12-7								
事業所等の延床面積	3,213.92		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	73	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	143	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	143	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量		
								排出 係数	排出量 ^{*1} (t)	
					⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	293,350.0	9.76	2,863.1	0.4890	143.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{*2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	2,863.1	⑭	143.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	836.0				0.2660	0.2
	公共下水道		☐	m ³	836.0				0.4000	0.3
合 計									⑮	0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	渋谷インフォスウイング									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	2	3
事業所等の所在地	〒150-0003 区市町村名 東京都渋谷区									
	町名番地下 桜丘町20-4									
事業所等の延床面積	6,040.32		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	308	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	599	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	601	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	99.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{*1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,226,256.0	9.76	11,968.3	0.4890	599.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{*2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計					⑬ 11,968.3		⑭ 599.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,226.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,226.0			0.4000	1.3
合 計							⑮ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西五反田ESビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	2	4					
事業所等の所在地	〒	1	4	1	—	0	0	3	1	区市町村名 東京都品川区					
	町名番地以下	西五反田7-25-9													
事業所等の延床面積	5,824.77				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	181	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	351	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	353	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	719,704.0	9.76	7,024.3	0.4890	351.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	0.4890	⑭ 0.0
合 計						⑮ 7,024.3		⑯ 351.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,254.0			0.2660	1.1
	公共下水道	☐	m ³	4,254.0			0.4000	1.7
合 計								⑰ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用方法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MY ARK日本橋ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	ー	0	1	2	5
事業所等の所在地	〒	1	0	3	ー	0	0	0	6	区市町村名 東京都中央区
	町名番地以下	日本橋富沢町10-16								
事業所等の延床面積	4,781.96		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	158	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	308	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	310	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	64.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	631,316.0	9.76	6,161.6	0.4890	308.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計						⑭ 6,161.6		⑮ 308.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,455.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐	m ³	3,455.0			0.4000	1.4
合 計								⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日本橋本町ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	2	6		
事業所等の所在地	〒	1	0	3	-	0	0	2	3	区市町村名 東京都中央区		
	町名番地下	日本橋本町4-11-5										
事業所等の延床面積	7,659.40				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	235	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	457	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	460	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	59.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	935,347.0	9.76	9,129.0	0.4890	457.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	9,129.0	⑭	457.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,041.0			0.2660	1.3	
	公共下水道		☐	m ³	5,041.0			0.4000	2.0	
合 計									⑮	3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル6号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	2	8
事業所等の所在地	〒110-0001 区市町村名 東京都台東区									
	町名番地下 東上野5-24-8									
事業所等の延床面積	10,127.58		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	278	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	540	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	543	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{*1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐ kWh	1,105,615.0	9.76	10,790.8	0.4890
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{*2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 10,790.8		⑮ 540.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	5,400.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐ m ³	5,400.0			0.4000	2.2
合 計							⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	2	9					
事業所等の所在地	〒	1	1	0	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都台東区					
	町名番地以下	北上野1-9-12													
事業所等の延床面積	8,432.91				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	217	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	422	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	424	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{*1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	863,167.0	9.76	8,424.5	0.4890	422.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{*2}			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計						⑭ 8,424.5		⑮ 422.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,495.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐	m ³	3,495.0			0.4000	1.4
合 計								⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル3号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	3	0
事業所等の所在地	〒	1	1	0	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都台東区
	町名番地以下	北上野1-8-1								
事業所等の延床面積	3,888.28		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖店事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	105	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	205	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	206	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	52.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	420,194.0	9.76	4,101.1	0.4890	205.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	4,101.1	⑭	205.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,892.0			0.2660	0.8	
	公共下水道		☐	m ³	2,892.0			0.4000	1.2	
合 計									⑮	1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル4号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	ー	0	1	3	1
事業所等の所在地	〒	1	1	0	ー	0	0	0	5	区市町村名 東京都台東区
	町名番地以下	上野7-12-14								
事業所等の延床面積	4,197.89		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	129	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	251	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	252	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	59.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{*1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	513,976.0	9.76	5,016.4	0.4890	251.3		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{*2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	5,016.4		⑮	251.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,192.0				0.2660		0.6
	公共下水道		☐	m ³	2,192.0				0.4000		0.9
合 計										⑯	1.5

*1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

*2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル7号館												
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	3	2			
事業所等の所在地	〒	1	1	0	—	0	0	0	3	区市町村名	東京都台東区		
	町名番地以下	根岸1-2-17											
事業所等の延床面積	4,734.09			m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	107	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	208	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	209	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh		0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	425,565.0	9.76	4,153.5	0.4890	208.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	4,153.5	⑮	208.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,149.0			0.2660		0.6
	公共下水道		☐	m ³	2,149.0			0.4000		0.9
合 計									⑮	1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル8号館														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	3	3					
事業所等の所在地	〒	1	1	0	-	0	0	1	5	区市町村名	東京都台東区				
事業所等の延床面積	8,190.64			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	333	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	647	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	650	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	78.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,324,753.0	9.76	12,929.6	0.4890	647.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 12,929.6		⑮ 647.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,984.0			0.2660	1.6
	公共下水道	☐	m ³	5,984.0			0.4000	2.4
合 計								⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル9号館														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	3	4					
事業所等の所在地	〒110-0001 区市町村名 東京都台東区														
	町名番地下 北上野2-8-7														
事業所等の延床面積	6,858.52 m ²					事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	272	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	529	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	531	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	77.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,082,491.0	9.76	10,565.1	0.4890	529.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 10,565.1		⑮ 529.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,072.0			0.2660	1.1
	公共下水道	☐	m ³	4,072.0			0.4000	1.6
合 計								⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産両国ビル															
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	3	5						
事業所等の所在地	〒	1	3	0	-	0	0	2	6	区市町村名	墨田区					
事業所等の延床面積	12,499.55					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他															
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用															
前年度の報告内容からの変更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	367	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	711	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	714	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	56.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	78,969.9	45.00	3,553.6	0.0136	177.2
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,093,379.0	9.76	10,671.4	0.4890	534.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭ 14,225.0		⑮ 711.9
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	7,079.0			0.2660	1.9
	公共下水道	☐ m ³	5,237.0			0.4000	2.1
合 計							⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産両国ビル別館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	3	6
事業所等の所在地	〒	1	3	0	-	0	0	2	6	区市町村名 墨田区
事業所等の延床面積	1,354.10		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	29	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	58	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	58	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	118,952.0	9.76	1,161.0	0.4890	58.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 1,161.0		⑮ 58.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	666.0			0.2660	0.2
	公共下水道	☐	m ³	666.0			0.4000	0.3
合 計								⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産亀戸ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	3	7					
事業所等の所在地	〒	1	3	6	—	0	0	7	1	区市町村名	江東区				
	町名番地以下	亀戸1-42-20													
事業所等の延床面積	12,077.19		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	374	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	725	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	728	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	73,771.2	45.00	3,319.7	0.0136	165.5
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,145,157.0	9.76	11,176.7	0.4890	560.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 14,496.4		⑭ 725.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,215.0			0.2660	1.7
	公共下水道		☐	m ³	4,409.0			0.4000	1.8
合 計									⑮ 3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産京橋ビル															
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	3	8						
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	0	0	4	1	区市町村名	東京都中央区					
事業所等の延床面積	7,612.48					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他															
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用															
前年度の報告内容からの変更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	325	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	632	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	634	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	83.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,292,637.0	9.76	12,616.1	0.4890
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 12,616.1		⑮ 632.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,219.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐	m ³	3,219.0			0.4000	1.3
合 計								⑮ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産人形町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	3	9
事業所等の所在地	〒	1	0	3	—	0	0	1	2	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	4,837.37		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	192	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	373	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	374	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	77.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	763,889.0	9.76	7,455.6	0.4890	373.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭ 7,455.6		⑮ 373.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,493.0			0.2660	0.7
	公共下水道	☐ m ³	2,493.0			0.4000	1.0
合 計							⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六甲ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	4	1
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	3	3	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	10,232.92		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	352	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	684	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	687	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	66.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	73,861.1	45.00	3,323.8	0.0136	165.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,061,266.0	9.76	10,358.0	0.4890	519.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 13,681.7		⑭ 684.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,487.0			0.2660	1.7
	公共下水道	☐	m ³	4,685.0			0.4000	1.9
合 計								⑮ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産浜町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	4	5
事業所等の所在地	〒	1	0	3	—	0	0	0	7	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	10,605.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	410	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	796	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	798	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	75.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	88,719.6	45.00	3,992.4	0.0136	199.1
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,220,814.0	9.76	11,915.1	0.4890	597.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 15,907.5		⑮ 796.1
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,633.0			0.2660	1.2
	公共下水道	☐ m ³	2,884.0			0.4000	1.2
合 計							⑯ 2.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産第二東陽ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	4	6		
事業所等の所在地	〒	1	3	5	—	0	0	1	6	区市町村名	東京都江東区	
	町名番地以下	東陽5-29-3										
事業所等の延床面積	4,504.53			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	150	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	291	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	292	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	64.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	596,034.0	9.76	5,817.3	0.4890	291.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 5,817.3		⑭ 291.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,382.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,382.0			0.4000	1.0
合 計								⑮ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産築地ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	4	7
事業所等の所在地	〒104—0045 区市町村名 東京都中央区									
事業所等の延床面積	6,452.34		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	218	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	424	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	426	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	868,796.0	9.76	8,479.4	0.4890	424.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計					⑬ 8,479.4		⑭ 424.8
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,342.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,342.0			0.4000	1.3
合 計							⑮ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産茅場町ビル2号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	4	8
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	3	3	区市町村名 東京都中央区
	町名番地以下	新川2-26-3								
事業所等の延床面積	7,124.40		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	156	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	304	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	304	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	621,840.0	9.76	6,069.2	0.4890	304.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 6,069.2		⑮ 304.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,477.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,477.0			0.4000	0.6
合 計								⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産茅場町ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	4	9					
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	3	3	区市町村名	東京都中央区				
事業所等の延床面積	10,533.88			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	440	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	915	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	918	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	86.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	92,000.0	36.70	3,376.4	0.0185	229.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,404,471.0	9.76	13,707.6	0.4890	686.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 17,084.0		⑭ 915.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,632.0			0.2660	1.8
	公共下水道	☐	m ³	5,438.0			0.4000	2.2
合 計								⑮ 3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産豊洲TKビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	5	0					
事業所等の所在地	〒	1	3	5	—	0	0	5	1	区市町村名	東京都江東区				
	町名番地下	枝川1-9-4													
事業所等の延床面積	6,275.27				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	227	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	441	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	447	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	902,651.0	9.76	8,809.9	0.4890	441.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 8,809.9		⑮ 441.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,793.0			0.2660	2.6
	公共下水道	☐	m ³	9,793.0			0.4000	3.9
合 計								⑯ 6.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産豊洲ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	5	1					
事業所等の所在地	〒	1	3	5	—	0	0	5	1	区市町村名	東京都江東区				
	町名番地以下	枝川1-9-6													
事業所等の延床面積	9,050.76				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	470	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	913	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	917	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	100.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	104,420.9	45.00	4,698.9	0.0136	234.3
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,388,068.0	9.76	13,547.5	0.4890	678.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 18,246.5		⑭ 913.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	7,851.0			0.2660	2.1
	公共下水道	☐	m ³	5,127.0			0.4000	2.1
合 計								⑮ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友入船ビル2号館												
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	5	2			
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	4	2	区市町村名	東京都中央区		
	町名番地以下	入船1-8-2											
事業所等の延床面積	3,709.50			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	88	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	171	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	172	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	46.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	351,330.0	9.76	3,429.0	0.4890	171.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑫ 3,429.0		⑬ 171.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,180.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,180.0			0.4000	0.9
合 計								⑭ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友新富ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	5	3					
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	4	1	区市町村名	東京都中央区				
	町名番地以下	新富2-14-4													
事業所等の延床面積	4,835.08				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	133	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	258	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	259	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	528,752.0	9.76	5,160.6	0.4890	258.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 5,160.6		⑮ 258.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,859.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	1,859.0			0.4000	0.7
合 計								⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産勝どきビル南館														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	5	4					
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	5	4	区市町村名	東京都中央区				
	町名番地下	勝どき6-1-15													
事業所等の延床面積	14,478.43				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	486	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	944	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	947	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	78,040.9	45.00	3,511.8	0.0136	175.1
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,573,945.0	9.76	15,361.7	0.4890	769.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 18,873.5		⑭ 944.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,632.0			0.2660	1.8
	公共下水道		☐	m ³	4,971.0			0.4000	2.0
合 計								⑮	3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新永ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	5	5					
事業所等の所在地	〒	1	3	6	—	0	0	7	1	区市町村名		江東区			
	町名番地以下	亀戸2-35-13													
事業所等の延床面積	9,707.31			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	229	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	446	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	449	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	45.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	913,014.0	9.76	8,911.0	0.4890	446.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 8,911.0		⑭ 446.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,704.0			0.2660	1.3
	公共下水道		☐	m ³	4,704.0			0.4000	1.9
合 計								⑮	3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日本橋ビル										
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	5	6	
事業所等の所在地	〒	1	0	3	-	0	0	2	3	区市町村名	東京都中央区
	町名番地以下	日本橋本町1-5-4									
事業所等の延床面積	9,750.59		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	347	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	674	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	677	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	69.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,380,112.0	9.76	13,469.9	0.4890	674.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計							⑭ 13,469.9		⑮ 674.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,755.0			0.2660	1.3
	公共下水道		☐	m ³	4,755.0			0.4000	1.9
合 計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪}=(\text{都が指定する原単位}\times\text{延床面積}\times\text{事業所等の総稼働時間})/1,000$

$\text{⑫}=(\text{⑪}/\text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)})\text{の係数})\times 1,000$ $\text{⑬}=(\text{⑫}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日本橋箱崎ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	5	9
事業所等の所在地	〒103-0001 区市町村名 東京都中央区									
町名番地下	日本橋箱崎町24-1									
事業所等の延床面積	20,536.72		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	738	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,433	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	1,439	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	69.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	2,931,200.0	9.76	28,608.5	0.4890	1,433.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 28,608.5		⑭ 1,433.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	11,211.0			0.2660	3.0
	公共下水道	☐	m ³	10,035.0			0.4000	4.0
合 計								⑮ 7.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉新川ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	6	0
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	3	3	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	2,709.55		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	75	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	145	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	146	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	298,356.0	9.76	2,912.0	0.4890	145.9		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	2,912.0		⑮	145.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,191.0				0.2660		0.6
	公共下水道		☐	m ³	2,191.0				0.4000		0.9
合 計										⑯	1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ日本橋箱崎														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	6	3					
事業所等の所在地	〒	1	0	3	-	0	0	1	5	区市町村名	東京都中央区				
事業所等の延床面積	3,176.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	89	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	174	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	176	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	54.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	19,865.7	45.00	894.0	0.0136	44.6
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	264,994.0	9.76	2,586.3	0.4890	129.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	3,480.3	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,755.0			0.2660	1.0
	公共下水道	☐ m ³	3,755.0			0.4000	1.5
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ上野									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	6	4
事業所等の所在地	〒	1	1	1	—	0	0	5	6	区市町村名 東京都台東区
	町名番地以下	小島2-4-4								
事業所等の延床面積	3,825.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	84	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	163	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	166	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	28,644.9	45.00	1,289.0	0.0136	64.3	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	202,146.0	9.76	1,972.9	0.4890	98.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	3,262.0	⑭	163.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,048.0			0.2660	1.3	
	公共下水道		☐	m ³	5,048.0			0.4000	2.0	
合 計									⑮	3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ大手町									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	6	5
事業所等の所在地	〒100-1-0047 区市町村名 東京都千代田区									
事業所等の延床面積	3,310.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	117	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	227	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	230	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	31,376.6	45.00	1,411.9	0.0136	70.4
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	321,604.0	9.76	3,138.9	0.4890	157.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	4,550.8	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,818.0			0.2660	1.3
	公共下水道	☐ m ³	4,818.0			0.4000	1.9
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ浜松町									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	6	6
事業所等の所在地	〒	1	0	5	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	2,678.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	107	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	108	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	39.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	17,980.7	45.00	809.1	0.0136	40.3
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	136,373.0	9.76	1,331.0	0.4890	66.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計						⑬	2,140.1	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,934.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐	m ³	2,934.0			0.4000	1.2
合 計								⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況

☐

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無

☐

有

☒

無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ茅場町									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	6	7
事業所等の所在地	〒104—0033 区市町村名 東京都中央区									
	町名番地下 新川1-8-2									
事業所等の延床面積	7,689.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	229	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	444	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
総計(④=②+③)	④	452	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	57.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	54,582.2	45.00	2,456.2	0.0136	122.5
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	659,497.0	9.76	6,436.7	0.4890	322.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	8,892.9	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	13,053.0			0.2660	3.5
	公共下水道	☐ m ³	13,053.0			0.4000	5.2
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ東京八丁堀									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	7	0
事業所等の所在地	〒	1	0	3	—	0	0	2	5	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	2,399.50		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	62	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	121	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	122	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	50.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	15,548.6	45.00	699.7	0.0136	34.9
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	177,158.0	9.76	1,729.1	0.4890	86.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 2,428.8		⑮ 121.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,998.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐ m ³	2,998.0			0.4000	1.2
合 計							⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ九段下									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	7	1
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	5	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	2,890.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	109	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	211	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	214	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	73.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	27,676.3	45.00	1,245.4	0.0136	62.1
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	305,758.0	9.76	2,984.2	0.4890	149.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計					⑬ 4,229.6		⑭ 211.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	5,379.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐ m ³	5,379.0			0.4000	2.2
合 計							⑮ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ新宿									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	7	4
事業所等の所在地	〒	1	6	0	—	0	0	2	1	区市町村名 東京都新宿区
事業所等の延床面積	1,639.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	20	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	39	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	39	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	23.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	1,537.0	45.00	69.2	0.0136	3.4
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	73,671.0	9.76	719.0	0.4890	36.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 788.2		⑮ 39.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	874.0			0.2660	0.2
	公共下水道	☐ m ³	874.0			0.4000	0.3
合 計							⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	御茶ノ水杏雲ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	7	5					
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	6	2	区市町村名	東京都千代田区				
	町名番地以下	神田駿河台2-2													
事業所等の延床面積	26,575.08				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	793	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,485	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	1,494	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	55.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	18,973.5	45.00	853.8	0.0136	42.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(温水)	☐	MJ	1,828,000.0	1.36	2,486.1	0.0600	109.7
	その他(冷水)	☐	MJ	4,986,000.0	1.36	6,781.0	0.0600	299.2
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,114,598.0	9.76	20,638.5	0.4890	1,034.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 30,759.3		⑮ 1,485.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	17,313.0			0.2660	4.6
	公共下水道	☐	m ³	13,181.0			0.4000	5.3
合 計								⑯ 9.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル2号館														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	7	6					
事業所等の所在地	〒		1	1	0	-	0	0	1	4	区市町村名	東京都台東区			
	町名番地下		北上野2-23-5												
事業所等の延床面積	7,135.53				m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当								
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	208	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	404	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	406	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他(軽油)		☐	L	45.0	37.70	1.7	0.0187	0.1		
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	827,418.0	9.76	8,075.6	0.4890	404.6		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	8,077.3		⑮	404.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,373.0				0.2660		1.2
	公共下水道		☐	m ³	4,373.0				0.4000		1.7
合 計										⑯	2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産箱崎ビル															
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	7	7						
事業所等の所在地	〒	1	0	3	—	0	0	1	5	区市町村名	東京都中央区					
事業所等の延床面積	5,916.50					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他															
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用															
前年度の報告内容からの変更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	150	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	282	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	283	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	47.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(温水)		☐	MJ	490,000.0	1.36	666.4	0.0600	29.4
	その他(冷水)		☐	MJ	758,000.0	1.36	1,030.9	0.0600	45.5
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	425,192.0	9.76	4,149.9	0.4890	207.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	5,847.2	⑭	282.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,994.0			0.2660	0.8
	公共下水道		☐	m ³	2,994.0			0.4000	1.2
合 計								⑮	2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シティタワー品川西棟									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	7	9
事業所等の所在地	〒	1	0	8	-	0	0	7	5	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	1,750.21		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☒ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	181	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	353	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	356	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	201.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	999.5	45.00	45.0	0.0136	2.2
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	717,944.0	9.76	7,007.1	0.4890	351.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭ 7,052.1		⑮ 353.3
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	5,192.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐ m ³	5,192.0			0.4000	2.1
合 計							⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シティタワー品川東棟									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	8	1
事業所等の所在地	〒108-0075 区市町村名 東京都港区									
	町名番地下 港南4-2-6									
事業所等の延床面積	887.06		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☒ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	182	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	204.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	12,349.0	45.00	555.7	0.0136	27.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	314,517.0	9.76	3,069.7	0.4890	153.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 3,625.4		⑮ 181.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,863.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐	m ³	2,863.0			0.4000	1.1
合 計								⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東新橋一丁目ビル															
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	8	7						
事業所等の所在地	〒	1	0	5	-	0	0	2	1	区市町村名	東京都港区					
事業所等の延床面積	6,530.46					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他															
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用															
前年度の報告内容からの変更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	185	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	360	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	361	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	55.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	737,776.0	9.76	7,200.7	0.4890	360.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 7,200.7		⑮ 360.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,348.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,348.0			0.4000	0.9
合 計								⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル5号館														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	1	8	4					
事業所等の所在地	〒110-0001 区市町村名 東京都台東区														
	町名番地下 北上野1-10-14														
事業所等の延床面積	14,987.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	437	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	847	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	852	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	100,009.1	45.00	4,500.4	0.0136	224.4
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,274,407.0	9.76	12,438.2	0.4890	623.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 16,938.6		⑮ 847.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	8,992.0			0.2660	2.4
	公共下水道	☐	m ³	7,225.0			0.4000	2.9
合 計								⑮ 5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友南青山ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	8	5
事業所等の所在地	〒107-0062 区市町村名 東京都港区									
事業所等の延床面積	10,336.94		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	426	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	827	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	830	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	80.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	89,007.6	45.00	4,005.3	0.0136	199.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,283,250.0	9.76	12,524.5	0.4890	627.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 16,529.9		⑭ 827.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,296.0			0.2660	1.7
	公共下水道	☐	m ³	4,426.0			0.4000	1.8
合 計								⑮ 3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田富士見ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	9	5
事業所等の所在地	〒102—0071 区市町村名 東京都千代田区									
	町名番地下 富士見1-8-19									
事業所等の延床面積	18,204.69		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	391	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	760	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	766	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	41.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh		0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,555,131.0	9.76	15,178.1	0.4890	760.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	15,178.1	⑭	760.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	10,069.0				0.2660	2.7
	公共下水道		☐	m ³	10,069.0				0.4000	4.0
合 計									⑮	6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	半蔵門駅前ビル												
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	9	7			
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	8	3	区市町村名	東京都千代田区		
	町名番地以下	麹町1-6-4											
事業所等の延床面積	17,219.70				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	469	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	912	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	913	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	52.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,866,183.0	9.76	18,213.9	0.4890	912.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 18,213.9		⑮ 912.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,540.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,540.0			0.4000	0.6
合 計								⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	渋谷インフォスアネックス									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	1	9	8
事業所等の所在地	〒	1	5	0	—	0	0	3	1	区市町村名 東京都渋谷区
	町名番地以下	桜丘町12-10								
事業所等の延床面積	5,315.59		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	202	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	392	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	393	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	73.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	802,845.0	9.76	7,835.8	0.4890	392.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 7,835.8		⑮ 392.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,011.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	2,011.0			0.4000	0.8
合 計								⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町駅前ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	0	2
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	7,375.19		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	197	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	384	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	385	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	52.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	785,782.0	9.76	7,669.2	0.4890	384.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 7,669.2		⑮ 384.2
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,770.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐ m ³	1,770.0			0.4000	0.7
合 計							⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ファーストビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	2	0	3
事業所等の所在地	〒	1	0	8	-	0	0	2	3	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	21,801.65		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	962	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,868	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	1,876	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,821,262.0	9.76	37,295.5	0.4890	1,868.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 37,295.5		⑭ 1,868.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	12,557.0			0.2660	3.3
	公共下水道	☐	m ³	12,557.0			0.4000	5.0
合 計								⑮ 8.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大井町駅前ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	0	5
事業所等の所在地	〒	1	4	0	—	0	0	1	4	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	25,657.84		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	869	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,689	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	1,696	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,454,615.0	9.76	33,717.0	0.4890	1,689.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 33,717.0		⑮ 1,689.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	11,324.0			0.2660	3.0
	公共下水道	☐	m ³	11,324.0			0.4000	4.5
合 計								⑯ 7.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三富ビル新館									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	2	0	6
事業所等の所在地	〒	1	5	0	-	0	0	1	3	区市町村名 東京都渋谷区
	町名番地以下	恵比寿1-20-18								
事業所等の延床面積	9,623.90		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	425	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	844	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	847	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	87.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	22,201.2	45.00	999.1	0.0136	49.8
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	27,426.0	36.70	1,006.5	0.0185	68.3
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,484,640.0	9.76	14,490.1	0.4890	726.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 16,495.7		⑮ 844.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,966.0			0.2660	1.3
	公共下水道	☐	m ³	4,966.0			0.4000	2.0
合 計								⑮ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ニチレイ東銀座ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	0	7
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	4	5	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	27,599.43		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	967	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,876	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	10	t
	総計(④=②+③)	④	1,886	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	67.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	110,458.7	45.00	4,970.6	0.0136	247.9
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,330,972.0	9.76	32,510.3	0.4890	1,628.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 37,480.9		⑮ 1,876.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	17,594.0			0.2660	4.7
	公共下水道	☐	m ³	15,390.0			0.4000	6.2
合 計								⑮ 10.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストウイング											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	1	5		
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	1	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	神田神保町2-36-1										
事業所等の延床面積	8,887.54			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	249	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	484	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	486	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	990,396.0	9.76	9,666.3	0.4890	484.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 9,666.3		⑭ 484.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,046.0			0.2660	1.1
	公共下水道	☐	m ³	4,046.0			0.4000	1.6
合 計								⑮ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産神田ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	1	6					
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	3	区市町村名	東京都千代田区				
	町名番地以下	神田美土代町7番地													
事業所等の延床面積	29,031.79				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	1,233	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,394	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	2,402	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	82.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	4,897,102.0	9.76	47,795.7	0.4890	2,394.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 47,795.7		⑮ 2,394.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	12,867.0			0.2660	3.4
	公共下水道	☐	m ³	12,867.0			0.4000	5.1
合 計								⑯ 8.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産元赤坂ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	1	7
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	1	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	5,966.29		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	247	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	480	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	481	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	80.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	982,554.0	9.76	9,589.7	0.4890	480.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 9,589.7		⑮ 480.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,808.0			0.2660	0.7
	公共下水道	☐ m ³	2,808.0			0.4000	1.1
合 計							⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	青森県会館アップルビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	1	8
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	7	1	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	富士見2-3-11								
事業所等の延床面積	3,529.27		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	198	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	386	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	389	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	109.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	10,231.1	45.00	460.4	0.0136	23.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	742,951.0	9.76	7,251.2	0.4890	363.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 7,711.6		⑮ 386.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,950.0			0.2660	1.6
	公共下水道	☐	m ³	5,950.0			0.4000	2.4
合 計								⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル4号館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	1	9
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	8	3	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	3,957.52		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	167	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	325	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	326	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	82.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	666,346.0	9.76	6,503.5	0.4890	325.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 6,503.5		⑮ 325.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,202.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,202.0			0.4000	0.9
合 計								⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産入船ビル												
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	2	0			
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	4	2	区市町村名	東京都中央区		
	町名番地以下	入船2-1-1											
事業所等の延床面積	18,812.27			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	486	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	945	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	948	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	23,376.6	45.00	1,051.9	0.0136	52.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,826,053.0	9.76	17,822.3	0.4890	892.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 18,874.2		⑮ 945.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,578.0			0.2660	1.2
	公共下水道	☐	m ³	4,578.0			0.4000	1.8
合 計								⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷ファーストタワー									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	2	2
事業所等の所在地	〒	1	5	0	—	0	0	1	1	区市町村名 東京都渋谷区
	町名番地以下	東1-2-20								
事業所等の延床面積	52,941.53		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	993	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,929	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	1,934	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	36.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	3,945,386.0	9.76	38,507.0	0.4890	1,929.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 38,507.0	⑭	1,929.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	9,304.0			0.2660	2.5
	公共下水道		☐	m ³	8,316.0			0.4000	3.3
合 計								⑮	5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル西館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	2	4
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地下	赤坂8-5-26								
事業所等の延床面積	23,946.57		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	948	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,840	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	1,848	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	76.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	89,596.3	45.00	4,031.8	0.0136	201.1
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	3,352,518.0	9.76	32,720.6	0.4890	1,639.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 36,752.4		⑮ 1,840.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	11,582.0			0.2660	3.1
	公共下水道	☐	m ³	14,414.0			0.4000	5.8
合 計								⑯ 8.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御成門駅前ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	2	5		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	0	4	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	新橋6-17-21										
事業所等の延床面積	8,896.23			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	307	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	596	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	598	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	66.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,219,651.0	9.76	11,903.8	0.4890	596.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計							⑭ 11,903.8		⑮ 596.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,237.0			0.2660	1.4
	公共下水道		☐	m ³	2,643.0			0.4000	1.1
合 計								⑯	2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストビル東館									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	2	6
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	6	5	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地下	西神田3-8-1								
事業所等の延床面積	38,786.51		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	1,418	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	2,751	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	14	t
	総計(④=②+③)	④	2,765	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	278,156.0	45.00	12,517.0	0.0136	624.2
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	4,351,093.0	9.76	42,466.7	0.4890	2,127.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 54,983.7		⑮ 2,751.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	24,218.0			0.2660	6.4
	公共下水道	☐	m ³	21,116.0			0.4000	8.4
合 計								⑯ 14.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	文祥九段ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	2	7
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	7	4	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	九段南1-4-5								
事業所等の延床面積	623.15		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	44	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	86	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	86	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	138.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	2,318.0	45.00	104.3	0.0136	5.2
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	166,216.0	9.76	1,622.3	0.4890	81.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 1,726.6		⑮ 86.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	805.0			0.2660	0.2
	公共下水道	☐	m ³	805.0			0.4000	0.3
合 計								⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産平河町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	2	2	8
事業所等の所在地	〒102-0093 区市町村名 東京都千代田区									
事業所等の延床面積	12,326.31		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	326	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	633	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	636	t
二酸化炭素排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	51.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,295,419.0	9.76	12,643.3	0.4890	633.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 12,643.3		⑮ 633.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,724.0			0.2660	1.3
	公共下水道	☐ m ³	4,724.0			0.4000	1.9
合 計							⑯ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	2	9
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	2	1	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	31,990.89		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	1,247	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,422	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	12	t
総計(④=②+③)	④	2,434	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	75.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	4,953,380.0	9.76	48,345.0	0.4890	2,422.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭ 48,345.0		⑮ 2,422.2
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	18,409.0			0.2660	4.9
	公共下水道	☐ m ³	18,409.0			0.4000	7.4
合 計							⑯ 12.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	3	0					
事業所等の所在地	〒	1	4	0	—	0	0	0	2	区市町村名	東京都品川区				
事業所等の延床面積	31,226.34			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	1,036	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,011	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	10	t
総計(④=②+③)	④	2,021	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	64.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	118,066.6	45.00	5,313.0	0.0136	264.9
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	3,571,539.0	9.76	34,858.2	0.4890	1,746.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	40,171.2	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	17,475.0			0.2660	4.6
	公共下水道	☐ m ³	15,458.0			0.4000	6.2
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西新宿8丁目ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	3	1
事業所等の所在地	〒	1	6	0	—	0	0	2	3	区市町村名 東京都新宿区
事業所等の延床面積	12,158.20		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	425	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	825	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	831	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	67.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	81,686.2	45.00	3,675.9	0.0136	183.3
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,314,230.0	9.76	12,826.9	0.4890	642.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	16,502.8	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	10,126.0			0.2660	2.7
	公共下水道	☐ m ³	10,126.0			0.4000	4.1
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東陽駅前ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	3	2					
事業所等の所在地	〒	1	3	5	—	0	0	1	6	区市町村名	東京都江東区				
事業所等の延床面積	32,839.99				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,045	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,029	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	2,036	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	61.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	4,151,243.0	9.76	40,516.1	0.4890	2,030.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 40,516.1		⑮ 2,030.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	10,554.0			0.2660	2.8
	公共下水道	☐	m ³	10,554.0			0.4000	4.2
合 計								⑯ 7.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産三田ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	2	3	9
事業所等の所在地	〒	1	0	8	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	24,937.91		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	777	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	1,507	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	1,513	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	242,804.3	45.00	10,926.2	0.0136	544.9
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,968,947.0	9.76	19,216.9	0.4890	962.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	30,143.1	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	10,436.0			0.2660	2.8
	公共下水道	☐ m ³	10,436.0			0.4000	4.2
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	六本木グランドプラザ														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	4	0					
事業所等の所在地	〒		1	0	6	—	0	0	3	2	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下		六本木3-1-25												
事業所等の延床面積	2,749.21			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☒ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	181	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	351	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	354	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	127.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	17,325.4	45.00	779.6	0.0136	38.9	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	640,304.0	9.76	6,249.4	0.4890	313.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	7,029.0	⑮	352.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,624.0			0.2660	1.5	
	公共下水道		☐	m ³	5,624.0			0.4000	2.2	
合 計									⑯	3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新橋ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	4	5
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	0	4	区市町村名 港区
事業所等の延床面積	8,398.12		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	386	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	750	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	753	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	89.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑤)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,534,374.0	9.76	14,975.5	0.4890	750.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	0.4890	⑭ 0.0
合 計					⑮ 14,975.5		⑯ 750.3
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	5,405.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐ m ³	5,405.0			0.4000	2.2
合 計							⑰ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑤/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産二番町ファーストビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	4	1		
事業所等の所在地	〒102-0084 区市町村名 千代田区 町名番地以下 二番町4-5											
事業所等の延床面積	18,600.40		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	560	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	1,087	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	1,093	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	58.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	1,321.5	45.00	59.5	0.0136	3.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,218,413.0	9.76	21,651.7	0.4890	1,084.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計						⑭ 21,711.2		⑮ 1,087.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,293.0			0.2660	2.5
	公共下水道	☐	m ³	9,293.0			0.4000	3.7
合 計								⑯ 6.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル5号館											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	4	2		
事業所等の所在地	〒	1	1	2	—	0	0	0	4	区市町村名	文京区	
事業所等の延床面積	8,204.42			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	179	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	348	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	349	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	712,510.0	9.76	6,954.1	0.4890	348.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 6,954.1		⑮ 348.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,018.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	2,018.0			0.4000	0.8
合 計								⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	築地えとビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	4	3
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	4	5	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	11,518.34		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	263	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	511	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	513	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,046,553.0	9.76	10,214.4	0.4890	511.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	10,214.4	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,366.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,366.0			0.4000	1.3
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C801	共用部照明のフロアごとの管理
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C804	共用部のフロアごとの空調の管理
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策			C806	その他設備の不使用时の停止
	設備導入対策			D102	セントラル空調のフィルター清掃
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿ガーデンタワーアネックス									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	4	4
事業所等の所在地	〒	1	6	9	—	0	0	7	2	区市町村名 東京都新宿区
	町名番地 以下	大久保3-8-4								
事業所等の延床面積	802.66		m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☒ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギー の利用状況	☐ 再生可能エネルギー 発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電 気の受入 ☐ 証書による環境価値 の利用									
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	83	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	161	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	162	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	200.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	8,242.7	45.00	370.9	0.0136	18.5	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	292,454.0	9.76	2,854.4	0.4890	143.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	3,225.3	⑭	161.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,929.0			0.2660	0.5	
	公共下水道		☐	m ³	1,929.0			0.4000	0.8	
合 計									⑮	1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	4	6
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名 東京都港区
事業所等の延床面積	11,826.37		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	386	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	749	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	751	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	63.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,533,738.0	9.76	14,969.3	0.4890	750.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 14,969.3		⑮ 750.0
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,020.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐ m ³	3,020.0			0.4000	1.2
合 計							⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大井町ビル南館														
事業所番号	A	1	0	2	6	-	0	2	4	7					
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	1	4	区市町村名	東京都品川区				
事業所等の延床面積	21,212.43			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,434	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,785	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	2,794	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	131.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	74,127.1	45.00	3,335.7	0.0136	166.3
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	5,356,776.0	9.76	52,282.1	0.4890	2,619.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	55,617.9	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	15,305.0			0.2660	4.1
	公共下水道	☐	m ³	14,450.0			0.4000	5.8
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友中野坂上ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	0
事業所等の所在地	〒	1	6	4	—	0	0	1	1	区市町村名 中野区
事業所等の延床面積	32,851.21		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	1,299	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	2,520	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	2,528	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	76.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	298,761.6	45.00	13,444.3	0.0136	670.4	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	3,783,496.0	9.76	36,926.9	0.4890	1,850.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	50,371.2	⑭	2,520.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	11,279.0			0.2660	3.0	
	公共下水道		☐	m ³	13,011.0			0.4000	5.2	
合 計									⑮	8.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ファーストビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	1
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	8	3	区市町村名 千代田区
事業所等の延床面積	13,502.31		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	353	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	686	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	688	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	242.6	45.00	10.9	0.0136	0.5
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	1,402,198.0	9.76	13,685.5	0.4890	685.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計							⑭ 13,696.4		⑮ 686.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,454.0			0.2660	1.2
	公共下水道		☐	m ³	4,454.0			0.4000	1.8
合 計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネ エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御成門タワー									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	2
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名 港区
事業所等の延床面積	32,692.84		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,117	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,169	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	10	t
	総計(④=②+③)	④	2,179	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	66.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	30,548.4	45.00	1,374.7	0.0136	68.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	4,296,186.0	9.76	41,930.8	0.4890	2,100.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 43,305.5		⑮ 2,169.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	15,967.0			0.2660	4.2
	公共下水道	☐	m ³	15,967.0			0.4000	6.4
合 計								⑯ 10.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産八丁堀ビル											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	3		
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	3	2	区市町村名	中央区	
	町名番地以下	八丁堀3-3-5										
事業所等の延床面積	8,977.12			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	214	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	415	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	417	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	46.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	850,136.0	9.76	8,297.3	0.4890	415.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 8,297.3		⑮ 415.7
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,400.0			0.2660	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,400.0			0.4000	1.4
合 計							⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産ふくおか半蔵門ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	4					
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	8	3	区市町村名	千代田区				
	町名番地以下	麹町1-12-1													
事業所等の延床面積	11,678.64				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	244	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	475	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	476	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	40.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量		
								排出 係数	排出量 ^{※1} (t)	
					⑤	⑦	⑧=(⑤/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	241.7	45.00	10.9	0.0136	0.5	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	970,876.0	9.76	9,475.7	0.4890	474.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	9,486.6	⑭	475.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,081.0			0.2660	0.6	
	公共下水道		☐	m ³	2,081.0			0.4000	0.8	
合 計									⑮	1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原北ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	5					
事業所等の所在地	〒	1	1	0	—	0	0	0	5	区市町村名	台東区				
	町名番地以下	上野5-2-1													
事業所等の延床面積	11,596.32				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	541	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,051	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	1,054	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	90.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,150,010.0	9.76	20,984.1	0.4890	1,051.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	0.4890	⑭ 0.0
合 計						⑮ 20,984.1		⑯ 1,051.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,357.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,357.0			0.4000	2.1
合 計								⑰ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産水道橋西口ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	6
事業所等の所在地	〒1001—0061 区市町村名 千代田区									
町名番地以下	神田三崎町2-20-5									
事業所等の延床面積	3,278.43		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	104	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	202	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	203	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	61.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	414,025.0	9.76	4,040.9	0.4890	202.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 4,040.9		⑮ 202.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,141.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐ m ³	2,141.0			0.4000	0.9
合 計							⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷タワー									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	7
事業所等の所在地	〒	1	5	0	—	0	0	1	1	区市町村名 渋谷区
事業所等の延床面積	31,380.96		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	1,307	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,539	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	2,546	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	80.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	2,833.3	45.00	127.5	0.0136	6.4		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	5,180,813.0	9.76	50,564.7	0.4890	2,533.4		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	50,692.2		⑮	2,539.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	9,465.0				0.2660		2.5
	公共下水道		☐	m ³	11,942.0				0.4000		4.8
合 計										⑯	7.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪} = (\text{都が指定する原単位} \times \text{延床面積} \times \text{事業所等の総稼働時間}) / 1,000$

$\text{⑫} = (\text{⑪} / \text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)}) \text{の係数} \times 1,000$ $\text{⑬} = (\text{⑫} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヨコソーレインボータワー									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	8
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	2	区市町村名 港区
事業所等の延床面積	40,584.18		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	938	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	1,820	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	10	t
総計(④=②+③)	④	1,830	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	157,937.5	45.00	7,107.2	0.0136	354.4
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	2,998,306.0	9.76	29,263.5	0.4890	1,466.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 36,370.7		⑭ 1,820.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	17,789.0			0.2660	4.7
	公共下水道		☐	m ³	15,368.0			0.4000	6.1
合 計									⑮ 10.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有		☒ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	N. 水道橋AX														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	5	9					
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	6	1	区市町村名	千代田区				
	町名番地以下	神田三崎町3-3-23													
事業所等の延床面積	6,546.32				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	181	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	352	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	352	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	720,700.0	9.76	7,034.0	0.4890	352.4		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	7,034.0		⑮	352.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	0.0			0.2660		0.0	
	公共下水道		☐	m ³	0.0			0.4000		0.0	
合 計										⑯	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネ エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝大門二丁目ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	0
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	2	区市町村名 港区
事業所等の延床面積	8,589.19		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	214	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	416	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	417	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	48.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	851,455.0	9.76	8,310.2	0.4890	416.4
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 8,310.2		⑭ 416.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,326.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,326.0			0.4000	0.9
合 計								⑮ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原駅前ビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	1
事業所等の所在地	〒100-1-001 区市町村名 千代田区									
町名番地下	神田練堀町300									
事業所等の延床面積	27,060.36		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	800	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,554	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
総計(④=②+③)	④	1,558	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	57.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	160.8	45.00	7.2	0.0136	0.4
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	3,177,422.0	9.76	31,011.6	0.4890	1,553.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			⑫ kWh	0.0	9.76	⑪ 0.0	⑬ 0.0
合 計					⑭ 31,018.9		⑮ 1,554.1
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	7,223.0			0.2660	1.9
	公共下水道	☐ m ³	7,223.0			0.4000	2.9
合 計							⑯ 4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿セントラルパークタワー												
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	2			
事業所等の所在地	〒	1	6	3	—	0	0	2	3	区市町村名	新宿区		
	町名番地以下	西新宿6-18-1											
事業所等の延床面積	58,191.96				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,093	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,123	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	2,132	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	36.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	807.8	45.00	36.4	0.0136	1.8
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	4,338,212.0	9.76	42,340.9	0.4890	2,121.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑫ 42,377.3		⑬ 2,123.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	14,234.0			0.2660	3.8
	公共下水道	☐	m ³	13,080.0			0.4000	5.2
合 計								⑭ 9.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ファーストビル									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	3
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	2	1	区市町村名 千代田区
	町名番地以下	外神田1-5-1								
事業所等の延床面積	26,059.68		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	646	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,256	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	1,259	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	48.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,568,776.0	9.76	25,071.3	0.4890	1,256.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 25,071.3		⑮ 1,256.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,748.0			0.2660	1.3
	公共下水道	☐	m ³	4,748.0			0.4000	1.9
合 計								⑮ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪}=(\text{都が指定する原単位}\times\text{延床面積}\times\text{事業所等の総稼働時間})/1,000$

$\text{⑫}=(\text{⑪}/\text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)})\text{の係数}\times 1,000$ $\text{⑬}=(\text{⑫}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産池袋東ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	4					
事業所等の所在地	〒	1	7	0	—	0	0	1	3	区市町村名					豊島区
	町名番地以下	東池袋4-7-7													
事業所等の延床面積	16,384.68				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	616	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,197	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	1,203	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	73.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	2,448,591.0	9.76	23,898.2	0.4890	1,197.4		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑩	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	23,898.2		⑮	1,197.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	9,422.0				0.2660		2.5
	公共下水道		☐	m ³	9,422.0				0.4000		3.8
合 計										⑯	6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ファーストビル(商業棟)									
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	5
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	2	1	区市町村名 千代田区
	町名番地以下	外神田1-9-1								
事業所等の延床面積	990.21		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☐ 1年度分 ☒ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☒ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	7	6	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	57	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	110	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	110	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	111.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	226,450.0	9.76	2,210.2	0.4890	110.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	2,210.2	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	1,225.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐ m ³	1,225.0			0.4000	0.5
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A216	所内会議・研修会等で報告
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C223	営業開始に合わせた加熱器具使用
		C202	バックヤードのこまめな消灯		
		C207	温度計等による室温の把握と調整		
		C224	看板照明白点灯時間の季節別管理		
	設備保守対策				
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ガーデンタワー										
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	6	
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	8	3	区市町村名	千代田区
	町名番地以下	麹町4-2-6									
事業所等の延床面積	47,676.90			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☐ 1年度分 ☒ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	885	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,718	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	8	t
総計(④=②+③)	④	1,726	t
二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	36.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	25,589.3	45.00	1,151.5	0.0136	57.4		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	3,396,824.0	9.76	33,153.0	0.4890	1,661.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	34,304.5		⑮	1,718.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	13,122.0				0.2660		3.5
	公共下水道		☐	m ³	11,613.0				0.4000		4.6
合 計										⑯	8.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C808	温湿度の適正管理
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C817	季節に応じた温度設定の見直し		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産汐留ウイング1号館											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	7		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	2	1	区市町村名	港区	
	町名番地以下	東新橋1-2-17										
事業所等の延床面積	9,898.29			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☐ 1年度分 ☒ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	22	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	43	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	43	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	4.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	88,684.0	9.76	865.6	0.4890	43.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	0.4890	⑬
合 計						⑭ 865.6		⑮ 43.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	64.0			0.2660	0.0
	公共下水道	☐	m ³	64.0			0.4000	0.0
合 計								⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目 標 値 等 (選 択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御茶ノ水ビル														
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	8					
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	2	1	区市町村名					千代田区
	町名番地以下	外神田2-2-3													
事業所等の延床面積	12,792.66				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☐ 1年度分 ☒ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	39	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	76	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	76	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	5.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	156,595.0	9.76	1,528.4	0.4890	76.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 1,528.4		⑮ 76.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	199.0			0.2660	0.1
	公共下水道	☐	m ³	199.0			0.4000	0.1
合 計								⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善		
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C808	温湿度の適正管理
				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産勝どきハイツ											
事業所番号	A	1	0	2	6	—	0	2	6	9		
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	5	4	区市町村名	中央区	
	町名番地	勝どき3-9-7										
事業所等の延床面積	312.39			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	7	8	4	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	55	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	106	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	112	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	339.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	31,364.1	45.00	1,411.4	0.0136	70.4		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	74,700.0	9.76	729.1	0.4890	36.5		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	2,140.5		⑮	106.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	10,111.0			0.2660		2.7	
	公共下水道		☐	m ³	10,111.0			0.4000		4.0	
合 計										⑯	6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C517	看板照明点灯時間の季節別管理	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項